

令和6年第5回（11月招集）袖ヶ浦市議会定例会

一般質問日程

質問順	議員名	質問予定日
1	稲毛 茂徳	12月9日（月）午前10時30分頃
2	湯浅 榮	12月9日（月）午後1時15分頃
3	木村 淑子	12月9日（月）午後2時15分頃
4	佐藤 博文	12月9日（月）午後3時15分頃
5	笹生 猛	12月10日（火）午前9時30分頃
6	渡辺 あゆみ	12月10日（火）午前10時30分頃
7	励波 久子	12月10日（火）午後1時15分頃
8	篠崎 典之	12月10日（火）午後2時15分頃

※時間は目安です。議事の進行により前後することがあります。

令和6年第5回（11月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

8名 18件

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	11番 稲毛 茂徳議員	1 袖ヶ浦駅周辺道路の道路環境整備について	(1) 県道（袖ヶ浦中島木更津線）今井から袖ヶ浦駅入口交差点までの歩道の整備について
			(2) 和田歯科医院そばの交差点への、歩行者用押しボタン信号の設置について
			(3) 奈良輪北通り（奈良輪高須交差点から奈良輪小学校入口まで）への街路灯・防犯灯等の設置について
		2 令和4年から開催している、そでがうらまつりアレワイサノサの評価について	(1) 開催3年を終えて、市としての本イベントの評価について
			(2) まつり会場が毎年異なり点々としているが、どのような経緯であるのか。また、今年は3会場での開催となったが、今後はどのように開催するのか。
		3 高齢者移動支援事業、高齢者タクシー料金助成事業費の利便性拡大について	(1) 「チョイソコがうら」が10月より市内全域へ拡大され、現在の登録者や利用の状況について
			(2) 高齢者タクシー料金助成は、タクシー券1枚の額面が500円での利用であるが、額面を300円に変更して「チョイソコがうら」での利用も可能としないか。
2	12番 湯浅 榮議員	1 県道袖ヶ浦姉崎停車場線について	この質問については、令和4年6月以前も含めて3回の一般質問を行っています。以下、6項目について伺います。
			(1) 蔵波台入口から長浦駅までについて
			① 道路照明灯、電柱、消火栓を表示するポールの移設についての進捗状況を伺う。
			② 千葉県無電柱化推進計画の対象に加えることを要望しないか伺う。
			(2) 令和4年6月の一般質問での答弁で、県の回答として県道の安全対策については、「今後改めて市と調整し、具体的な対策の実施を検討していきたいとのことでございます。」としていましたが、その後進捗があったのか伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			(3) 令和4年6月の一般質問での答弁で「せり出した樹木やつるの安全性や美観の向上について、道路通行上の支障となるものであれば、土地所有者に剪定や伐採の依頼を行う対応を実施しています。」としていますが、十分危険な状況であり、剪定した兆候は見られません。市の判断を伺う。
			(4) 法面側路側帯の雑草の繁茂状況の安全性と美観の向上について、令和4年6月の一般質問での答弁で「歩行者や車両の通行に危険と思われる箇所が見受けられた場合には県に対応を依頼してまいります」としていましたが、今夏はどのように判断されたか伺う。
			(5) 長浦駅から代宿までの内房線沿いの雑草について、草刈りをもっと早めるよう要望しないか伺う。
			(6) 法面の樹木のせり出しや路側帯の雑草について、道路アダプトプログラムを活用できないか。
		2 市内公園・緑地の管理について	袖ヶ浦市の都市計画では、公園・緑地は、都市の緑とオープンスペースの機関的な施設で、良好な生活環境を保全し、スポーツ、文化等の増進に寄与すると同時に、災害時における防火、避難等の防災拠点として大きな役割をもっています。と記載されていますが、以下について伺います。
			(1) 公園（総合、地区、風致、近隣、街区）・緑地についてそれぞれの管理状況について
			(2) 市民による公園清掃の現状と課題について
			① 手当の妥当性について
			② 刈り取った草などの回収について
			(3) 蔵波公園のベンチの修理について
			(4) 公園内の樹木につくられたカラス・はちの巣の駆除について

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		3 防犯対策について	ここ数年、日本全国、特に首都圏での強盗事件が相次いでいる。指示役がSNSを通じて若者らに闇バイトに関わらせる手口が明らかとなってきた。狙われる場所は高価な時計などを置いた質店や事務所から、タンス貯金を蓄えていると思われる住宅などであるが、無くても間違えられて襲われたケースも報道されている。 本市においてもこのような事件が頻発しないとも限らない。 (1) 本市の防犯対策について伺う。 (2) 防犯対策費用に対する補助金制度について伺う。
3	10番 木村 淑子議員	1 高齢者支援の充実、認知症の人と家族に寄り添った地域づくりについて	(1) 認知症の人を含めた一人ひとりが、その個性と能力を十分発揮しながら、共に支え合って生きる共生社会の実現を目指し、本年1月に認知症基本法が施行されました。認知症は誰もがなり得るものであり、自分ごととして身近な問題として捉える必要があります。認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深める取組を強化するべきと考えますが、市長の見解を伺います。 (2) 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るうえで、認知症の人に対する適切な接し方を身につけることが重要です。ケア技法である「ユマニチュード」の周知について見解を伺います。 (3) 今後、増加することが懸念される認知症行方不明者の命を守る取組を推進するべきと考えますが、現状を伺います。 (4) 加齢性難聴は生活の質を下げ、認知症になる最も大きな環境要因ともいわれています。聞こえの悪さを軽減させる仕組みとして「軟骨伝導」が注目されています。軟骨伝導イヤホンを使った「集音器」が全国の自治体窓口などで活用されていますが、本市でも導入を検討しないか伺います。
		2 介護人材への支援について	(1) 高齢者が住み慣れた地域で生活し続けるためには支えてくれる人が必要です。そのための介護人材の確保や支援の取組と周知について伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		3 若い世代への支援について	(1) 現在、本市の人口は微増していますが、今後、人口減少の局面に差し掛かってくる中で、若い世代の定住が重要になると考えます。移住・定住促進について本市の取組を伺います。 (2) 大学進学などのために日本学生支援機構の貸与型奨学金を利用した人の4割以上が、「日常的な食事や医療機関の受診、結婚などに返済が影響していると感じている」との調査結果がありました。 奨学金返還支援制度は、奨学金返還に苦しむ若者の負担軽減のため、一定の要件を満たせば、自治体や企業が奨学金の返還を肩代わりする制度です。 若者の地方定着や企業における人材確保にも繋がるため、本市でも実施するべきと考えますが、見解を伺います。
4	8番 佐藤 博文議員	1 袖ヶ浦市カーボンニュートラル推進の取組について	2024年3月22日に「袖ヶ浦市カーボンニュートラル宣言」を表明し、2050年までに向けて二酸化炭素実質排出量ゼロの実現を目指すとしている。 以下の点について伺う。 (1) 袖ヶ浦市カーボンニュートラル推進の取組について ① 現在市内の温室効果ガス排出状況について伺う。 ② 袖ヶ浦市カーボンニュートラル実現に向けたスケジュールと、今後の進め方について伺う。 (2) 市民と協力してカーボンニュートラルを推進していくために ① 市民が活用できる太陽光パネルや蓄電池設置などの補助事業について伺う。 ② カーボンニュートラル推進に向けて、市民に協力を依頼する事項について伺う。 (3) 市内企業と協力してカーボンニュートラルを推進していくために ① カーボンニュートラル推進に向けて、市内企業に協力を依頼する事項について伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		2 新たな農業の担い手確保に向けた取組について	現在市内では農業就労者の高齢化が進んでおり、新たに農業を始められる方が求められている。しかし従来の親から子へ農業を引き継ぐ事も少なくなっており、農業者個人で新たな担い手を見つけることは困難を極めている。行政も含めて、新たな担い手を広く求めていく取組が必要と考える事から、以下の点について伺う。 (1) 市内で新たに農業を始められる方の状況について ① 新たに農業の担い手として就農された方の状況について伺う。 ② 新たに農業を始めようとするうえでの課題について伺う。
5	20番 笹生 猛議員	1 選挙の公正性・透明性を確保するための選挙管理委員会の機能と責任について	2024年10月27日に実施された袖ヶ浦市議会議員一般選挙の投票率は54.72%となり、前年の補欠選挙（投票率19.33%）から大幅に上昇した。この成果は、選挙管理委員会の取組の賜物であると考えます。 昨年12月議会での一般質問を踏まえ、選挙管理委員会の投票率向上の取組や選挙の公正性・透明性を確保するための機能について伺う。
6	7番 渡辺 あゆみ議員	1 自殺対策の取組について	(1) 自殺の現状について 袖ヶ浦健康プラン21（第3次）における本市の自殺死亡率は、全国平均と比較すると20代男性、30代女性の割合が多い傾向にある。現在の状況について伺います。 (2) 自殺対策の取組と周知について 本市では自殺対策として現状どのような取組や周知を行っているのか。 (3) 若者へのアプローチと今後の対策について 本市における若者の自殺対策への効果的なアプローチや対策を検討しないか伺います。 (4) 子ども達への対策について 国はこどもの自殺対策緊急強化プランとして1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため全国の学校での実施を目指している。 学校においてどのように推進しているか進捗状況を伺います。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
7	18番 励波 久子議員	1 義務教育費にかかる保護者負担の軽減と就学援助制度の拡充について	「義務教育は無償」とされている憲法第26条に照らして、保護者負担が多く発生している現状があります。また、経済的理由でお困りの方に対して学用品費、給食費などを援助する就学援助制度がありますが以下について、現状や改善を求めて質問します。
			(1) 小学校入学時にほとんどのお子さんが購入するランドセルについて、各学校では指定になっているのか。どのようにお知らせをしているのか。ランドセルより安価で軽いリュック型ランドセルなど使用可となっているのか伺います。
			(2) 中学校の制服について、大変高額であると感じます。そして、中学校の学校説明会の前に制服の販売期間が指定されており、中学校へ確認することも出来ません。市内各学校の制服の金額とお知らせ方法、就学援助の入学準備金の金額について伺います。
			(3) 就学援助の項目で国では支給項目となっている、クラブ活動費、PTA会費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費等が袖ヶ浦市では対象となっていない。どのように考えているのか伺います。
		2 高齢者等支援について	(4) 様々な費用が義務教育の中で保護者負担として発生していますが、学校給食費は全体の中でも大きな割合を占めています。すべての小中学生に完全無償化を進めるべきと考えますがいかがか伺います。
			(1) 家族の助けが得られない「おひとりさま高齢者」が増えています。市として終活支援相談窓口を設置しないか伺います。
			(2) 高齢者等のゴミ出し支援について環境省の調査では、2021年1月現在、34.8%の地方自治体で導入されていると報告しています。本市でも高齢者等のゴミ出し支援を実施していかないか伺います。
8	23番 篠崎 典之議員	1 国民健康保険制度のあり方について	本市の国保税負担は、協会けんぽ保険料の2倍にのぼるもとで今年度、平均15.46%もの国保税大幅引き上げが行われた。そのうえ今年10月からの社会保険適用拡大により、収入のある国保被保険者は、いっそう減ることとなった。一般会計からの法定外繰り入れは、以前の毎年1億5千万円から昨年度からゼロとされた。「税の天引きで年金が無くなり、暮らしていけない」「外出もできない」など物価高、実質収入減で国保税負担増が深刻さを増すだけでなく、さらなる国保増税も懸念される。以下について伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			(1) 法定外繰入れは、違法ではなく、ペナルティも無い。国や県の圧力に屈することなく、来年度予算で法定外繰入れを直ちに復活させ、国保税を引き下げないか。 (2) 協会けんぽでは実施されていない、18歳までの国保税均等割を撤廃・免除し、税の負担軽減を図らないか。 (3) 市長として直接、政府に対して国庫負担の大幅増額を求める行動を行い、国保加入者の負担軽減を抜本的に図ることを実行しないか。 (4) 平均15.46%にも及ぶ今年度の国保増税で、モデル世帯の年収400万円の4人家族世帯国保税がこれまでの約40万円から約48万円への増税になった。市民が受ける経済的負担増をどう考えるのか。市長自身の言葉で明確に述べていただきたい。
		2 残土埋立等環境保全行政について	残土埋立規制問題について以下の点を伺う。 (1) 林地区陳場台においてワコーエコテックが施工した、社会通念上、産廃とみられる多量の堆積が放置されてきた問題について、千葉県は南側の表面堆積物のみの「評価」だけで掘削もせず、科学的な根拠も示さず「有価物」と決めつけたままである。北側堆積物については、千葉県が掘削調査を実施したと聞く。地元住民は、陳場台の堆積物の徹底した掘削調査と全面撤去、井戸の飲料用水としての水質検査、健康被害調査等を強く求めているが、これまで市が行ってきた経過の詳細と現状、解決のための方策を伺う。 (2) 市長は、残土埋立を規制する市独自の条例を制定しないことについて、これまでに市独自条例を制定しない明確な理由を述べていないと察する。市民が求めているのは、残土埋立「禁止」ではなく、「残土及び再生土の適正な土壌検査」であり、県条例のように5,000㎡に一度の検査ではなく、農業と水・袖ヶ浦市の環境を市として保全する実効性のある条例制定である。なぜ、市民の健康と環境、農業と水を守るための市独自の残土条例を制定しないのか。市内の残土埋立等の状況と市長のこれまでの議会発言を踏まえた上での市長としての明確な考え方を伺う。

質問順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
		3 スポーツ施設等公共施設の維持管理について	(1) 総合運動場のテニス場について、テニスコートは、しばらく全面張り替えがされていない。クラブハウスは、耐震基準を満たさず、2階にも上がれず、除去対象となっている。特にテニスコートの人工芝は、耐用年数7から10年のところ、20年も張り替えされていないものもあり、継ぎはぎの部分補修で、使用に支障をきたしている。早急に改修・整備する必要があると考えるが、新年度予算の中で早急な人工芝の貼り替え等を実施しないか伺う。 (2) テニス場の利用時間について、冬の12月から3月までの時期は、17時以降の利用ができない。利用者から この期間も利用したい要望が出されている。なぜ、要望に応えられないのか具体的な理由を伺う。また、直ちに条例改正して1年を通した利用ができるように改善しないか伺う。